

第17回 定時総会

北海道銀杏会は4月23日、札幌市のホテルガーデンパレスで第17回定時総会を開催しました。定時総会はコロナ禍で一昨年は中止、昨年は書面（eメール配信）による開催でしたが、3年ぶりに「リアル」の開催となり、参加した30人の会員が旧交を温めました。

令和3年度の事業報告・決算、令和4年度の事業計画・予算案の決議に続いて、第二部講演会に移り、当会会員で前衆議院議員の荒井聰さん（昭和45年農学部卒）が「しなやかに、したたかに 永田町の七不思議」と題し、昨年10月に政界を引退するまで28年に及ぶ政治生活を振り返りました。荒井さんは介護保険制度の創設など自らが関わった政策課題を紹介し、最後に「北海道ではベテラン議員がほとんどいなくなってしまった。与野党を超えて北海道の存在を示せるような政治家を有権者が育てていくことが必要」と訴えました。

今期の当会の活動は新型コロナの感染状況を見ながら行事開催の可否を判断していくことにしています。

（文責 辻岡英信）



北海道銀杏会 第17回 定時総会



東京大学 北海道銀杏会

演題「しなやかに、したたかに、
永田町の七下田」
講師 学授法人札幌経済学園理事長 菅井 茂

